

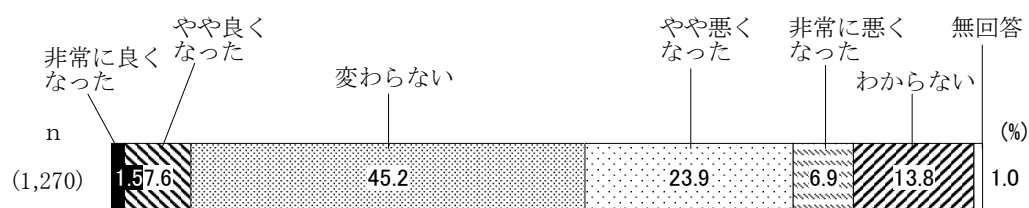
6 安全・安心のまちづくりについて

6-1 地域の治安状況の変化

◎ <悪くなった>が30.8%

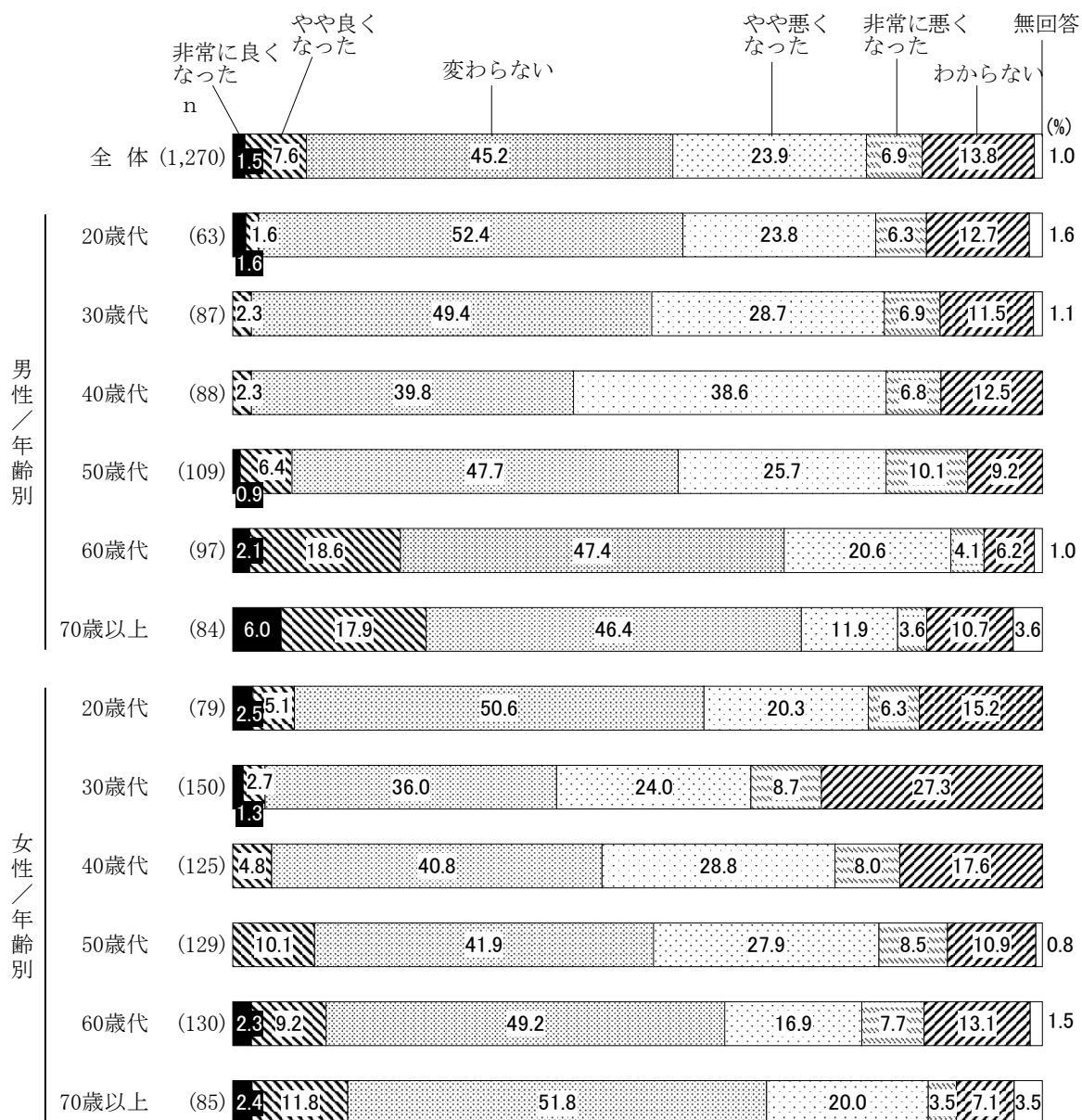
問11 ここ2～3年の間に、あなたがお住まいの地域での治安状況はどのようなになったと感じですか。(〇は1つ)

図表6-1 地域の治安状況の変化



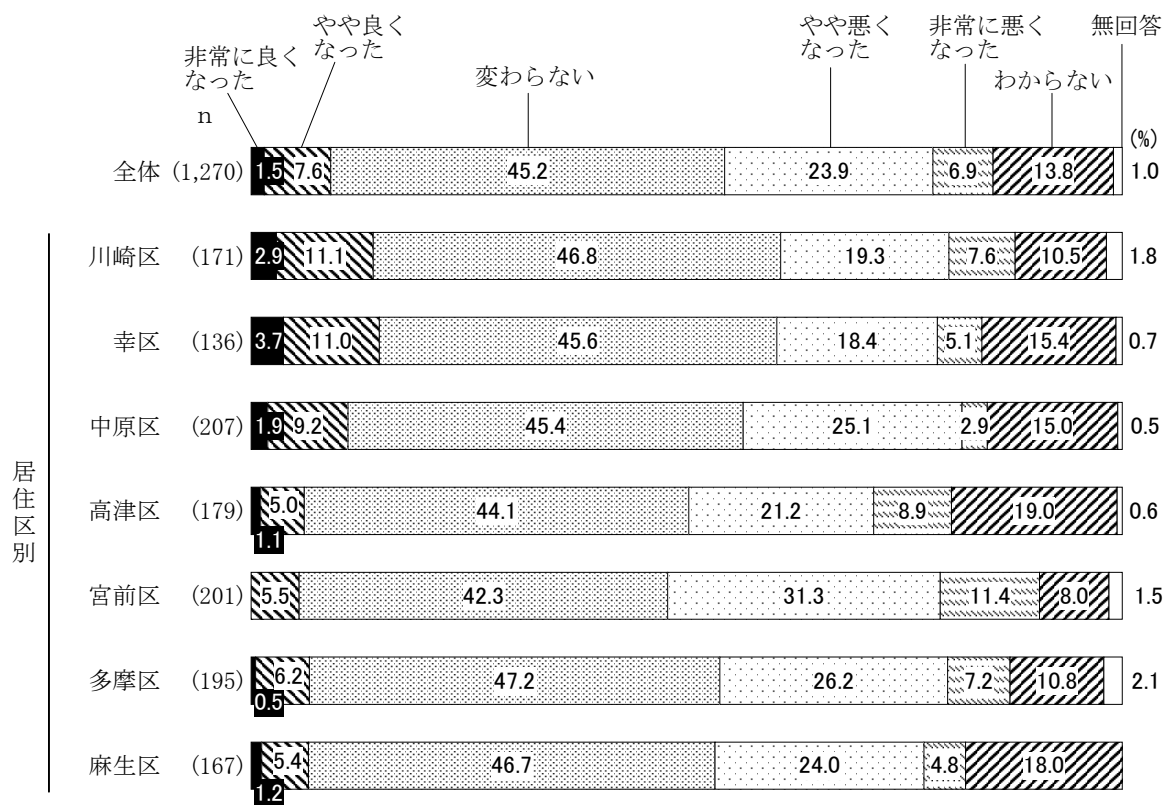
ここ2～3年の間の治安状況の変化は、「非常に良くなった」(1.5%)と「やや良くなった」(7.6%)をあわせた<良くなった>は9.1%で1割に満たない。一方、「やや悪くなった」(23.9%)と「非常に悪くなった」(6.9%)をあわせた<悪くなった>は30.8%となっている。(図表6-1)

図表6-2 地域の治安状況の変化（性／年齢別）



性／年齢別では、＜良くなった＞は男女ともに60歳以上で多くなっており、特に男性で2割を超えている。一方、＜悪くなった＞は男女ともに40歳代と50歳代で多く、特に男性の40歳代で4割台半ばとなっている。（図表6-2）

図表 6－3 地域の治安状況の変化（居住区別）



居住区別では、＜良くなった＞は川崎区と幸区で1割台半ば、中原区で1割を超えている。一方、＜悪くなった＞は宮前区で4割と最も多く、多摩区と高津区で3割を超えている。（図表 6－3）

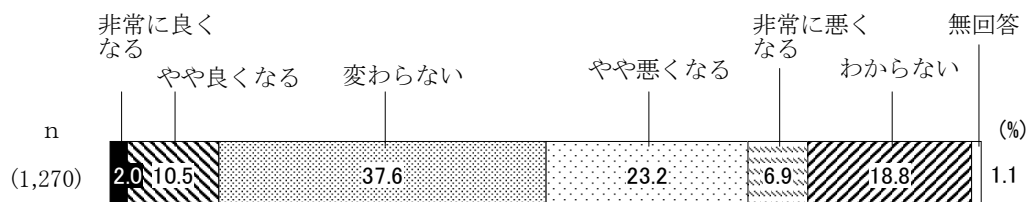
6-2 地域の今後の治安状況

◎ <良くなる>は 12.5%、<悪くなる>は 30.1%

問 12 今後、あなたがお住まいの地域での治安状況は、どのようになると思いますか。

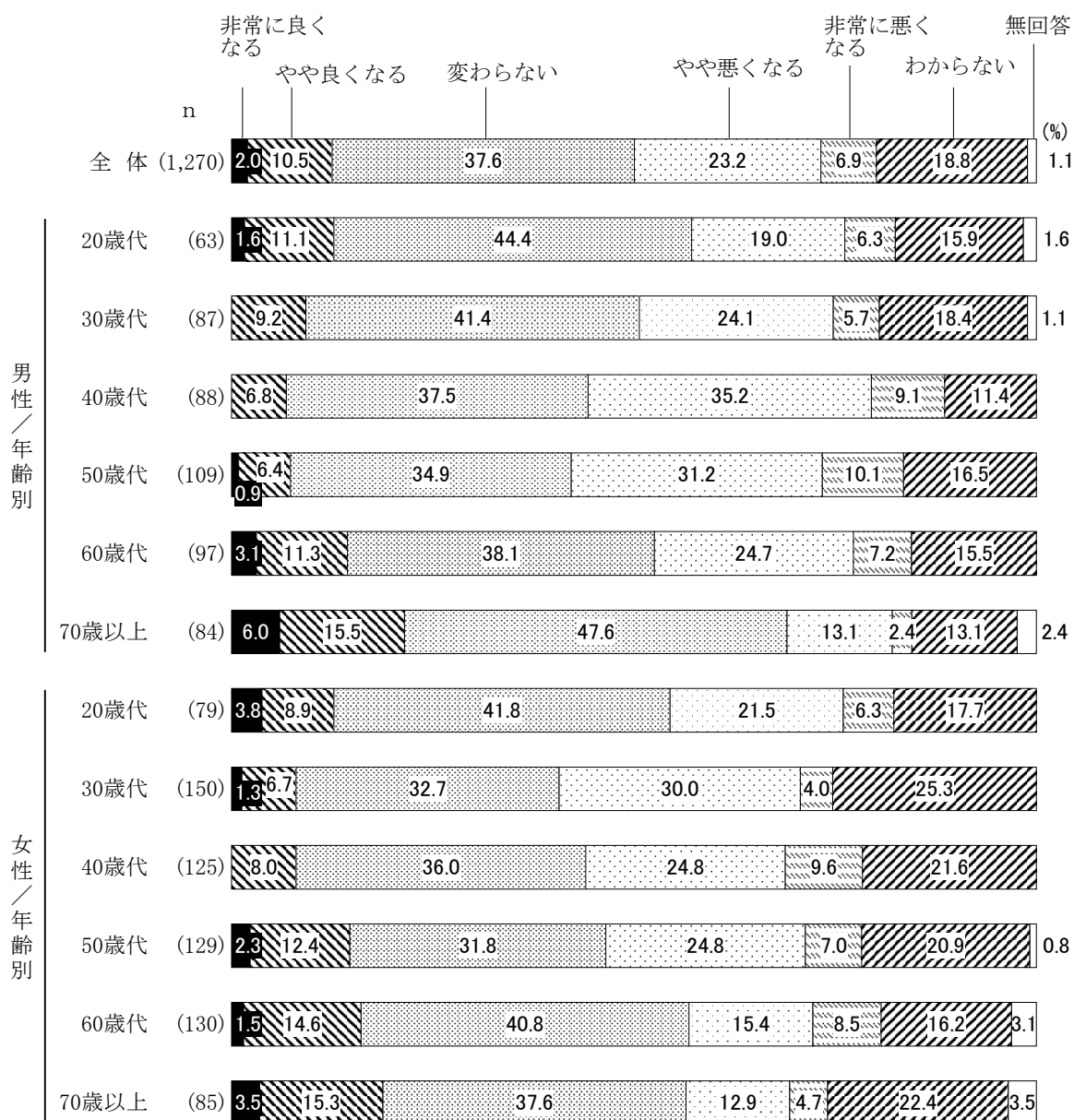
(○は1つ)

図表 6-4 地域の今後の治安状況



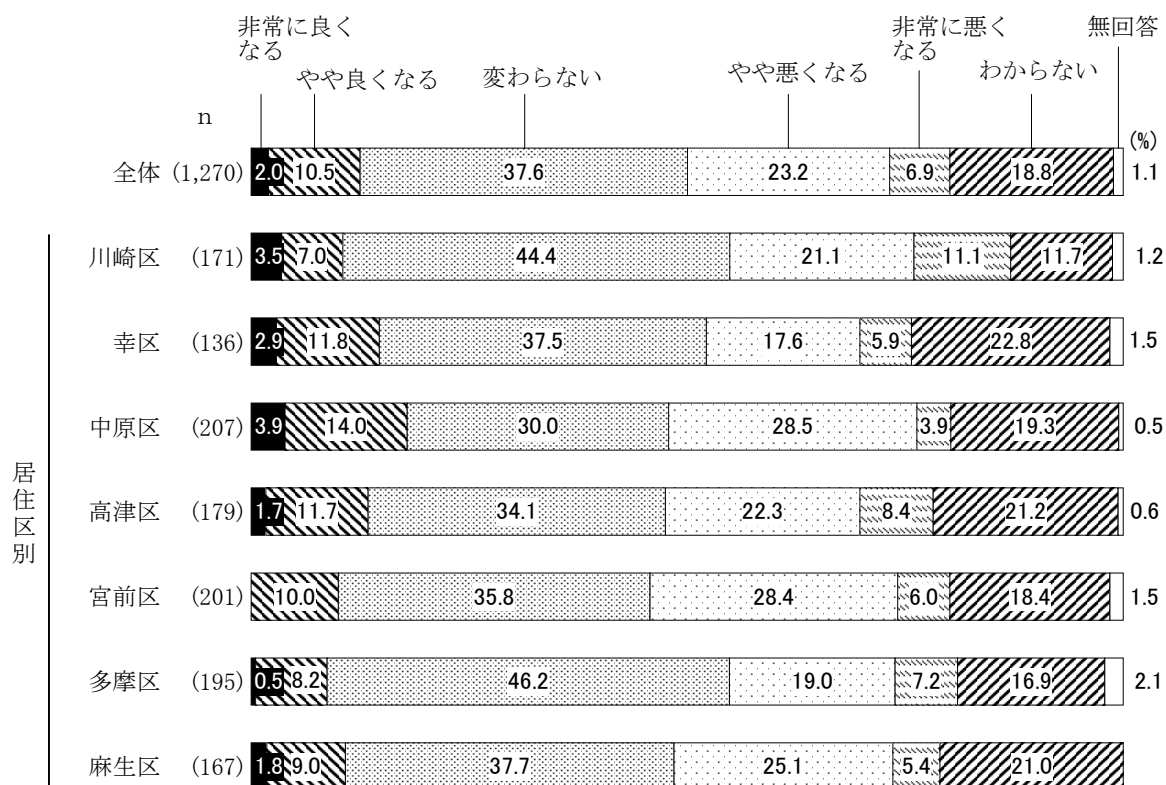
今後の治安状況の変化は、「非常に良くなる」(2.0%)と「やや良くなる」(10.5%)をあわせた<良くなる>は 12.5%となっている。一方、「やや悪くなる」(23.2%)と「非常に悪くなる」(6.9%)をあわせた<悪くなる>は 30.1%となっている。(図表 6-4)

図表6-5 地域の今後の治安状況（性／年齢別）



性／年齢別では、＜良くなる＞は男女ともに70歳以上で2割前後と多くなっている。一方、＜悪くなる＞は男性では40歳代と50歳代で4割を超えている。女性では30歳代と40歳代で3割台半ばとなっている。（図表6-5）

図表 6－6 地域の今後の治安状況（居住区別）



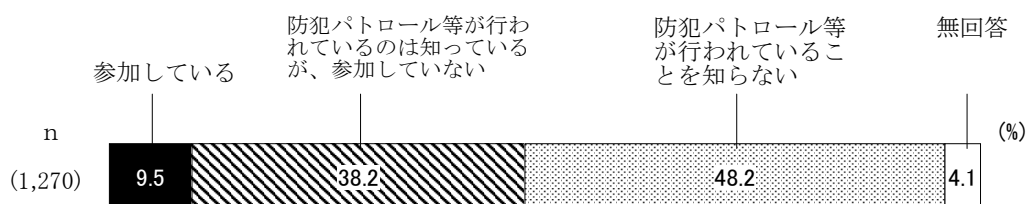
居住区別では、＜良くなる＞は中原区2割近くと最も多く、次いで幸区と高津区で1割台半ばとなっている。一方、＜悪くなる＞は宮前区で3割台半ばと最も多い。（図表6－6）

6－3 地域の防犯パトロールの参加状況

◎ 「参加している」は1割に満たないが、認知度は47.7%

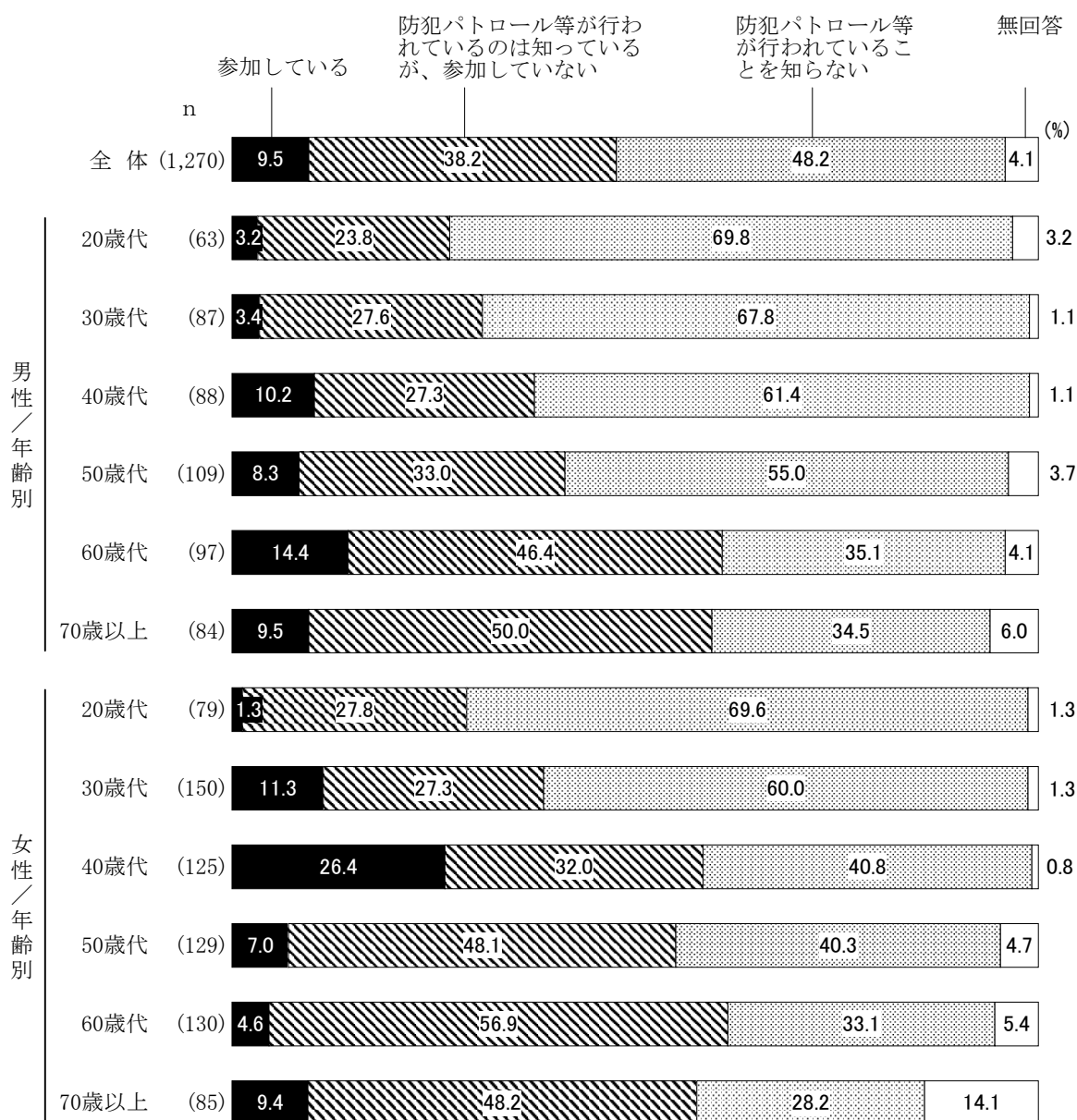
問13 地域で行われている防犯パトロール等の活動に参加していますか。(○は1つ)

図表6－7 地域の防犯パトロールの参加状況



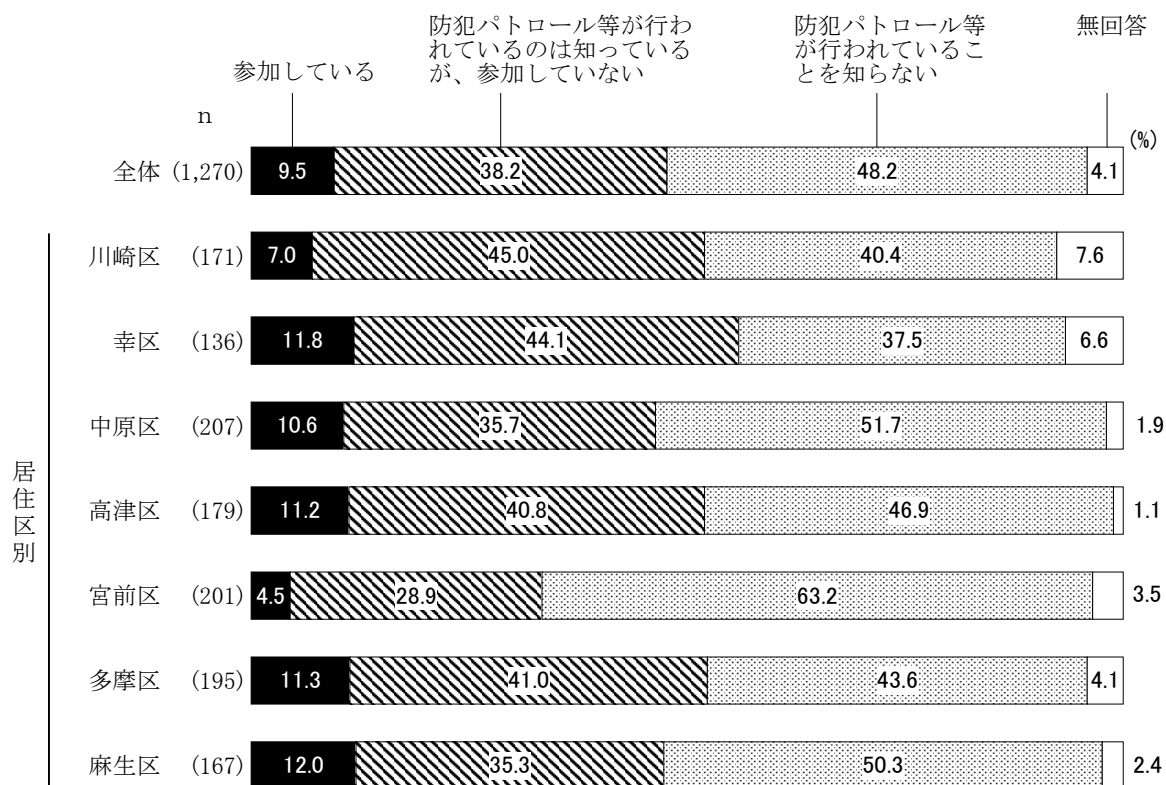
地域の防犯パトロールの参加状況は、「参加している」が9.5%で1割に満たないものの、「防犯パトロール等が行われているのは知っているが、参加していない」(38.2%)とあわせた認知度(47.7%)は半数に近くとなっている。(図表6－7)

図表6－8 地域の防犯パトロールの参加状況（性／年齢別）



性／年齢別では、「参加している」が最も多いのは女性の 40 歳代で 2 割台半ば、次いで男性の 60 歳代で 1 割台半ばとなっている。防犯パトロールの認知度は、男女ともに 20 歳代で最も低く、年齢が高くなるにつれて高くなる傾向がみられる。(図表 6－8)

図表6－9 地域の防犯パトロールの参加状況（居住区別）



居住区別では、「参加している」は宮前区と川崎区で1割に満たない。防犯パトロールの認知度の割合は、幸区で5割台半ばを超えるが、宮前区では3割台と最も低くなっている。（図表6－9）

6-4 地域の防犯パトロールへの参加意向

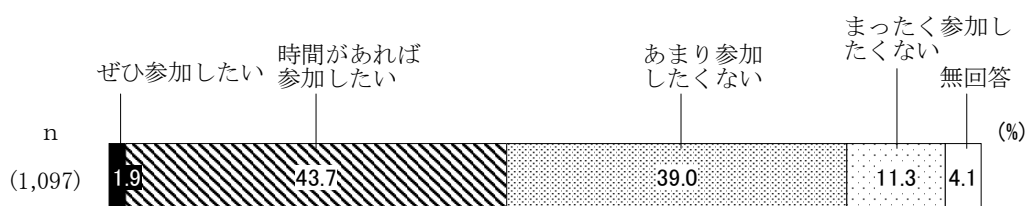
◎ <参加したい>は45.6%

(問13で「防犯パトロール等が行われているのは知っているが、参加していない」または「防犯パトロール等が行われていることを知らない」と答えた方にうかがいます。)

問13-(1) 今後、地域で行われている防犯パトロール等に参加したいと思いますか。

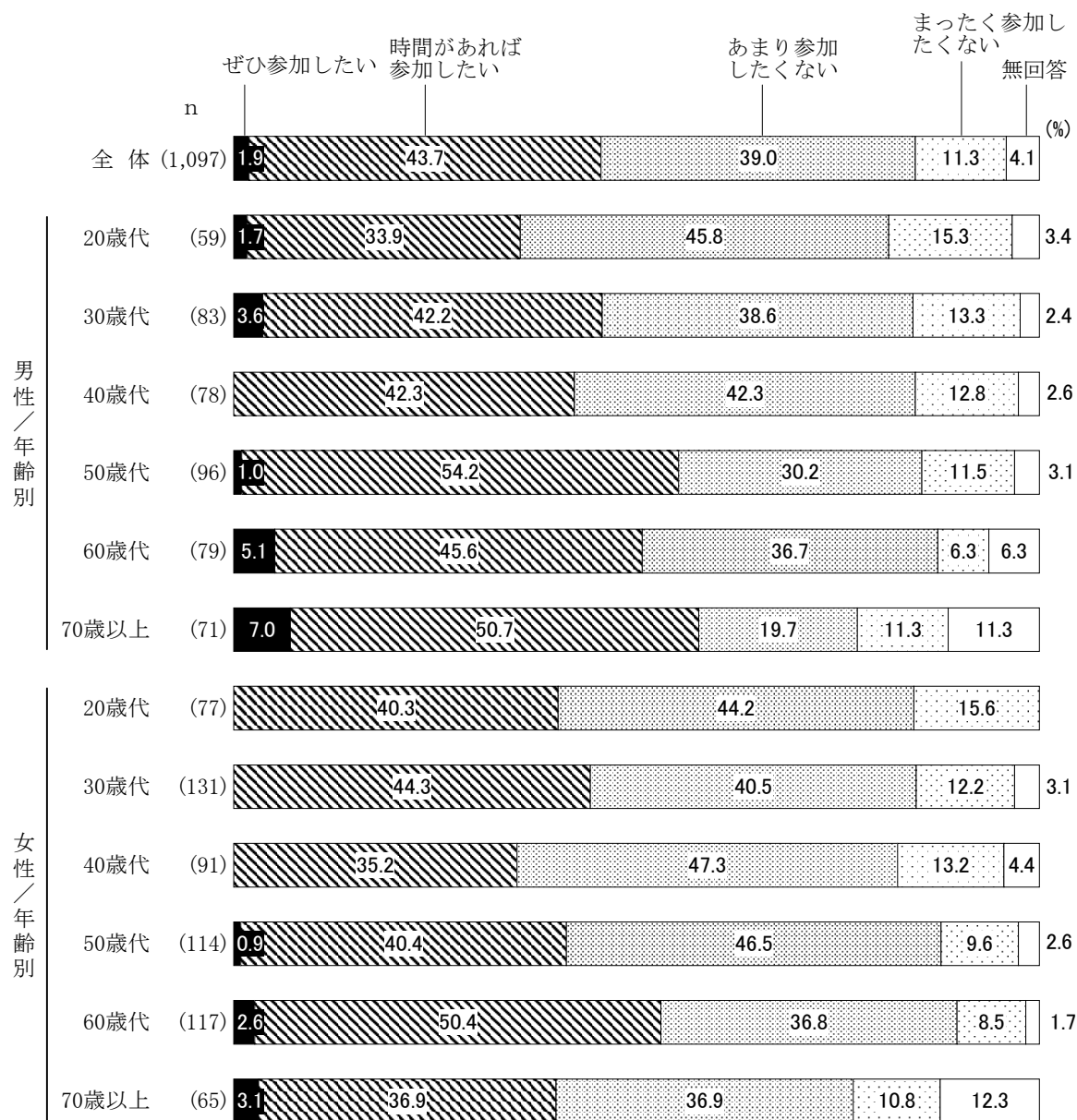
(○は1つ)

図表6-10 地域の防犯パトロールへの参加意向



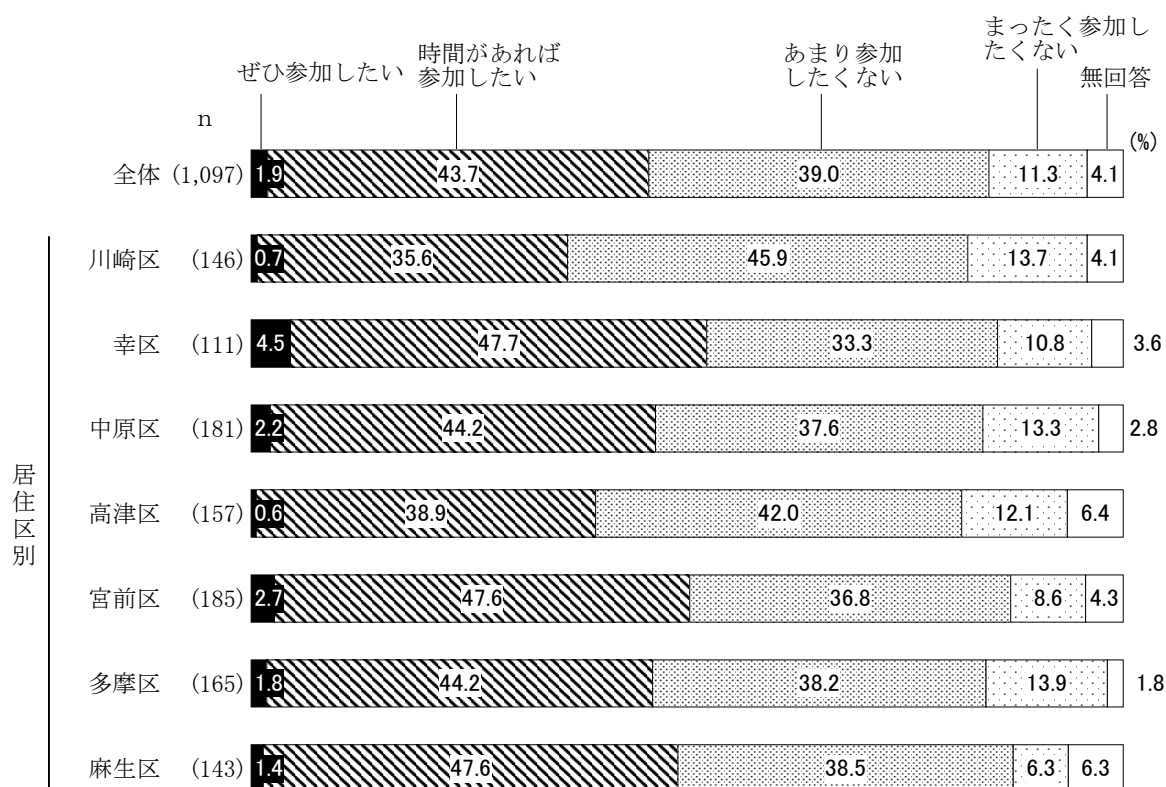
防犯パトロールに参加していない人の参加意向は、「ぜひ参加したい」が1.9%にとどまるが、「時間があれば参加したい」(43.7%)をあわせた<参加したい>は45.6%となっている。一方、「あまり参加したくない」(39.0%)と「まったく参加したくない」(11.3%)をあわせた<参加したくない>(50.3%)は半数となっている。(図表6-10)

図表 6-11 地域の防犯パトロールへの参加意向（性／年齢別）



性／年齢別では、＜参加したい＞は男性の50歳以上、女性の60歳代で半数を超えている。一方、＜参加したくない＞は男女ともに20歳代で6割前後、女性の40歳代で6割を超えている。(図表6-11)

図表6-12 地域の防犯パトロールへの参加意向（居住区別）



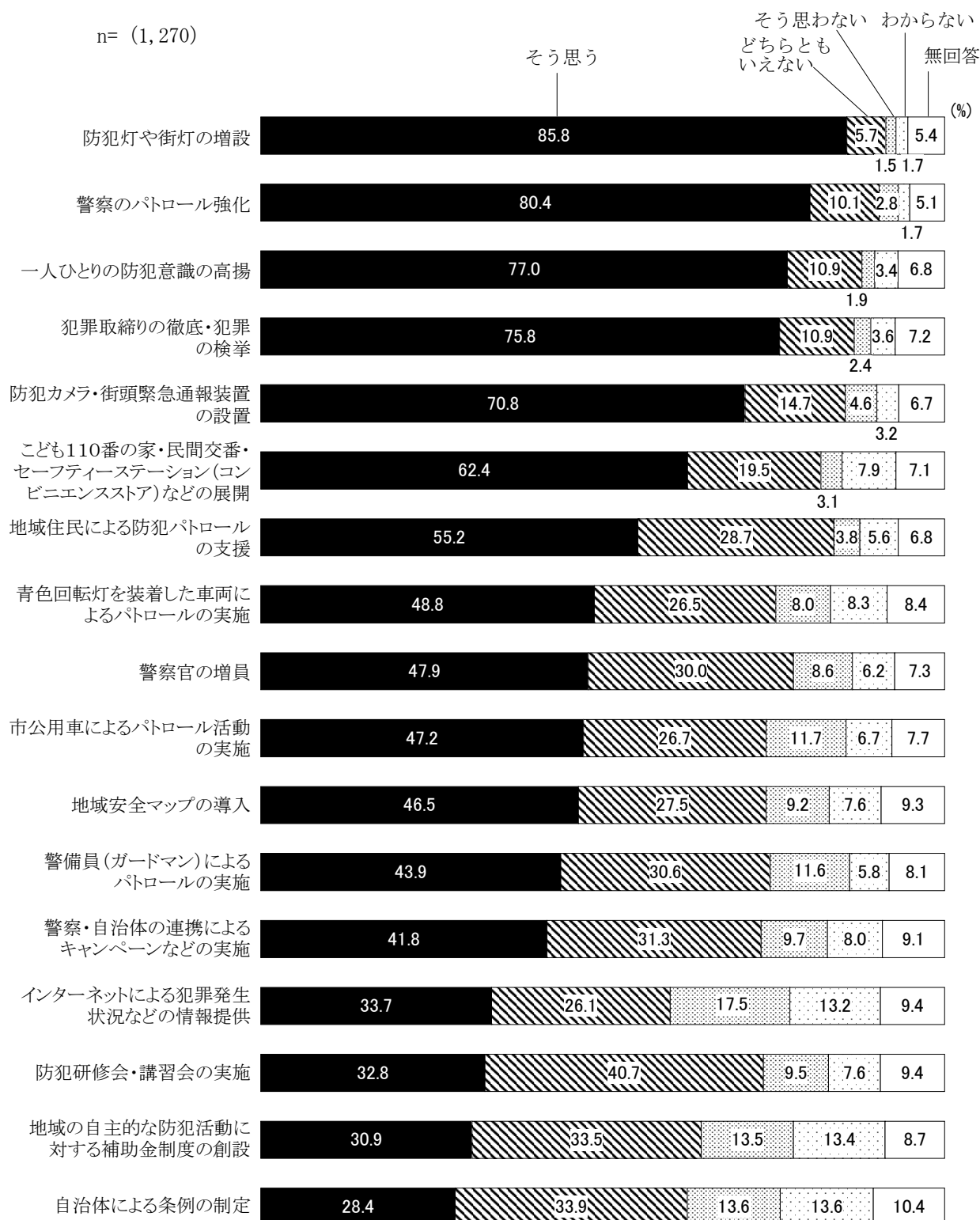
居住区別では、＜参加したい＞は幸区と宮前区で5割を超えている。一方、＜参加したくない＞は川崎区で6割に近い。(図表6-12)

6-5 安全なまちづくりに効果的な取組み

◎ “防犯灯や街灯の増設” と “警察のパトロール強化” が8割超

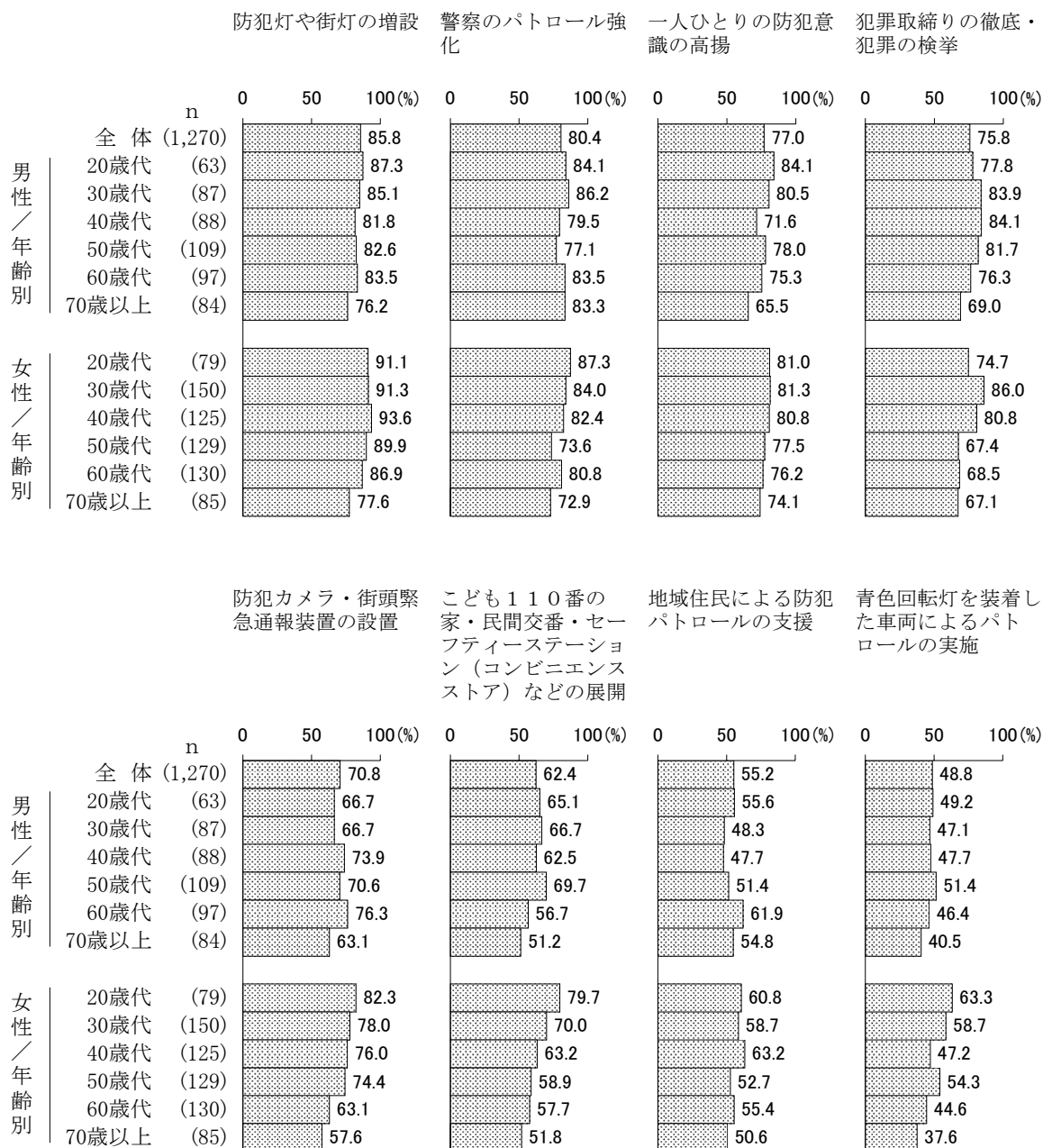
問 14 あなたは、事件・事故のない安全なまちづくりのために、次のような取組みが効果的だと思いますか。（○はそれぞれ1つずつ）

図表 6-13 安全なまちづくりに効果的な取組み



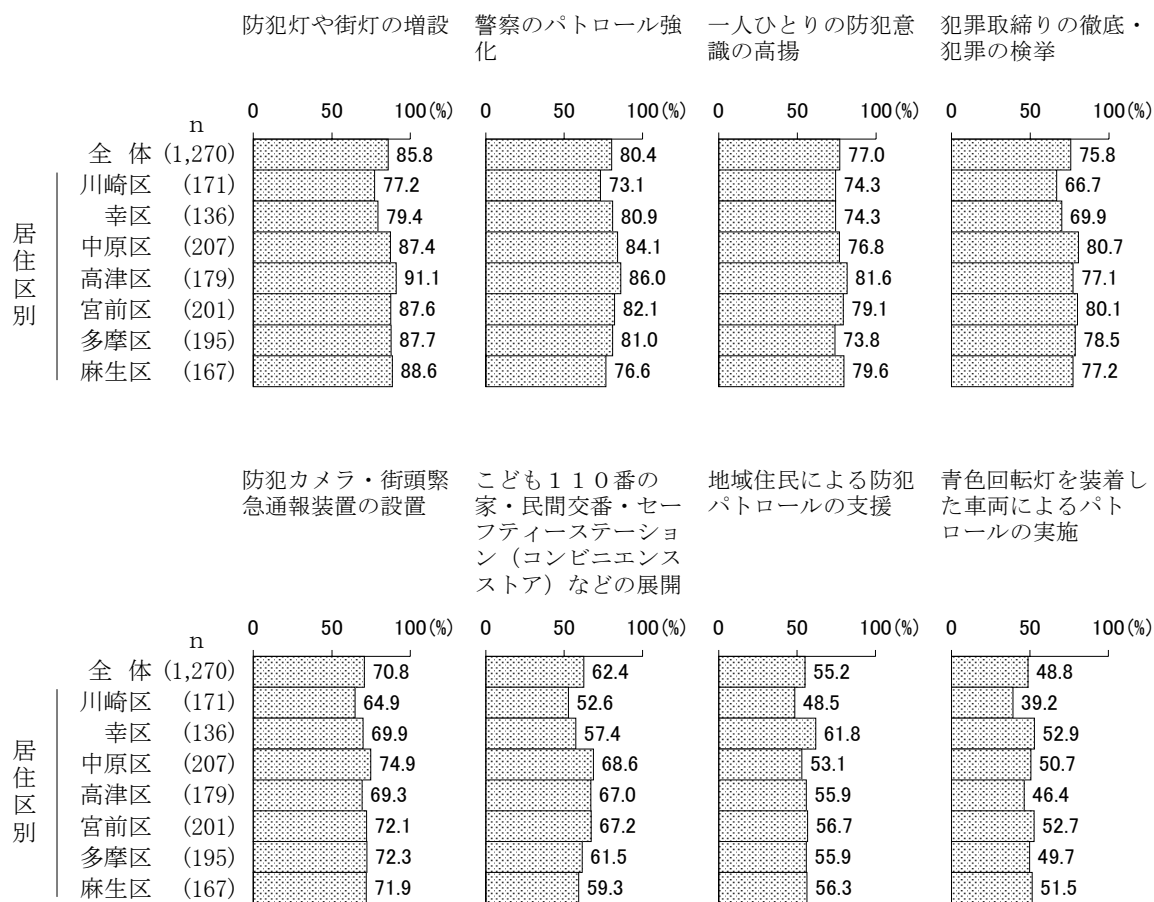
安全なまちづくりに効果的な取組みとして、「そう思う」は“防犯灯や街灯の増設”が85.8%で最も多く、“警察のパトロール強化”(80.4%)でも8割を超えている。次いで、“一人ひとりの防犯意識の高揚”(77.0%)、“犯罪取締りの徹底・犯罪の検挙”(75.8%)、“防犯カメラ・街頭緊急通報装置の設置”(70.8%)が7割台となっている。以下、“こども110番の家・民間交番・セーフティーステーション(コンビニエンスストア)などの展開”(62.4%)、“地域住民による防犯パトロールの支援”(55.2%)と続いている。(図表6-13)

図表6-14 安全なまちづくりに効果的な取組み(「そう思う」、性/年齢別、上位8項目)



性/年齢別の「そう思う」の割合は、“防犯灯や街灯の増設”は男性よりも女性の方が多く、特に女性の40歳代で9割台半ばとなっている。“犯罪取締りの徹底・犯罪の検挙”は男女ともに30歳代～40歳代で比較的多くなっている。“防犯カメラ・街頭緊急通報装置の設置”“こども110番の家・民間交番・セーフティーステーション(コンビニエンスストア)などの展開”は女性では20歳代で8割前後と多い。“地域住民による防犯パトロールの支援”は男性の60歳代、女性の20歳代と40歳代で6割を超えている。(図表6-14)

図表6-15 安全なまちづくりに効果的な取組み（「そう思う」、居住区別、上位8項目）



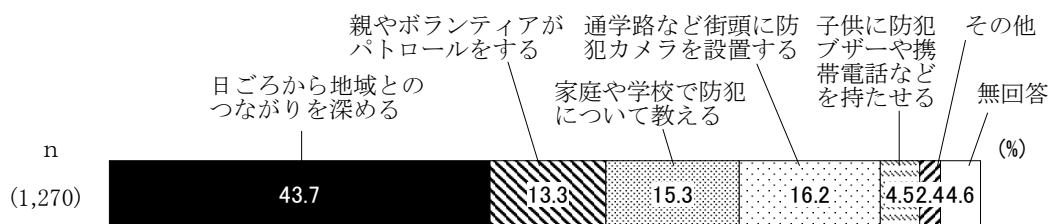
居住区別「そう思う」の割合は、“防犯灯や街灯の増設”は高津区で9割を超える。“警察のパトロール強化”は中原区と高津区で8割台半ばとなっている。“一人ひとりの防犯意識の高揚”は高津区で8割を超えている。“地域住民による防犯パトロールの支援”は幸区で6割を超えて最も多くなっている。（図表6-15）

6-6 子供の安全を守るために効果的な取組み

◎ 「日ごろから地域とのつながりを深める」が43.7%

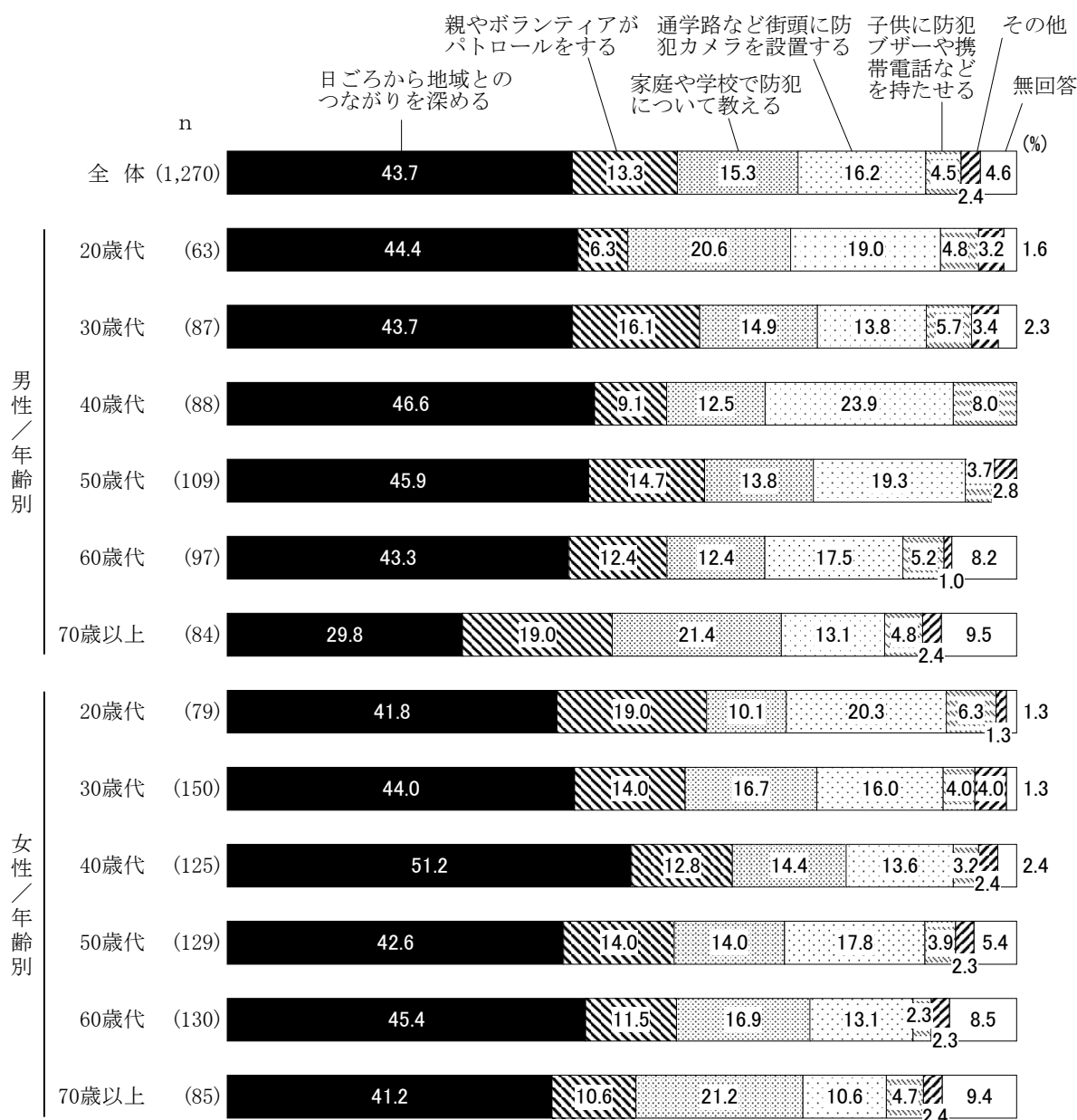
問15 あなたは、子供の安全を守るために、どのような取組みがもっとも効果的だと思いますか。(〇は1つ)

図表6-16 子供の安全を守るために効果的な取組み



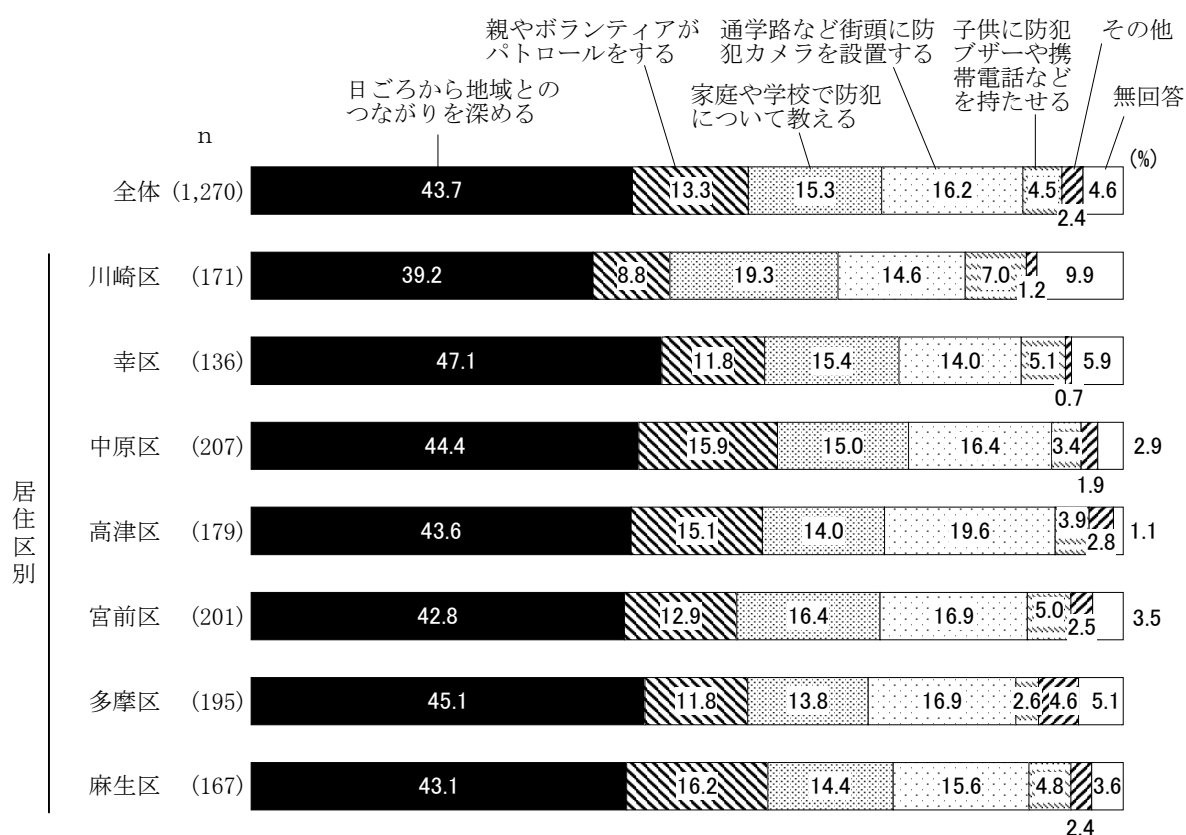
子どもの安全を守るために効果的な取組みは、「日ごろから地域とのつながりを深める」が43.7%で最も多く、「親やボランティアがパトロールをする」が13.3%、「家庭や学校で防犯について教える」が15.3%、「通学路など街頭に防犯カメラを設置する」が16.2%となっている。(図表6-16)

図表6-17 子供の安全を守るために効果的な取組み（性／年齢別）



性／年齢別では、「日ごろから地域とのつながりを深める」は男性の70歳未満を除き、男女ともに4割以上となっており、特に女性の40歳代では半数を超えている。また、「通学路など街頭に防犯カメラを設置する」は男女の20歳代、男性の40歳代と50歳代で2割前後と比較的多くなっている。（図表6-17）

図表6-18 子供の安全を守るために効果的な取組み（居住区別）



居住区別では、川崎区では「日ごろから地域とのつながりを深める」が他の区よりやや少なくなっているが、「家庭や学校で防犯について教える」が2割近くと他の区より多くなっている。「通学路など街頭に防犯カメラを設置する」が高津区で2割に近い。(図表6-18)

6－7 路上喫煙防止条例の施行の認知状況

◎ 「知っている」が51.9%、「知らない」が45.7%

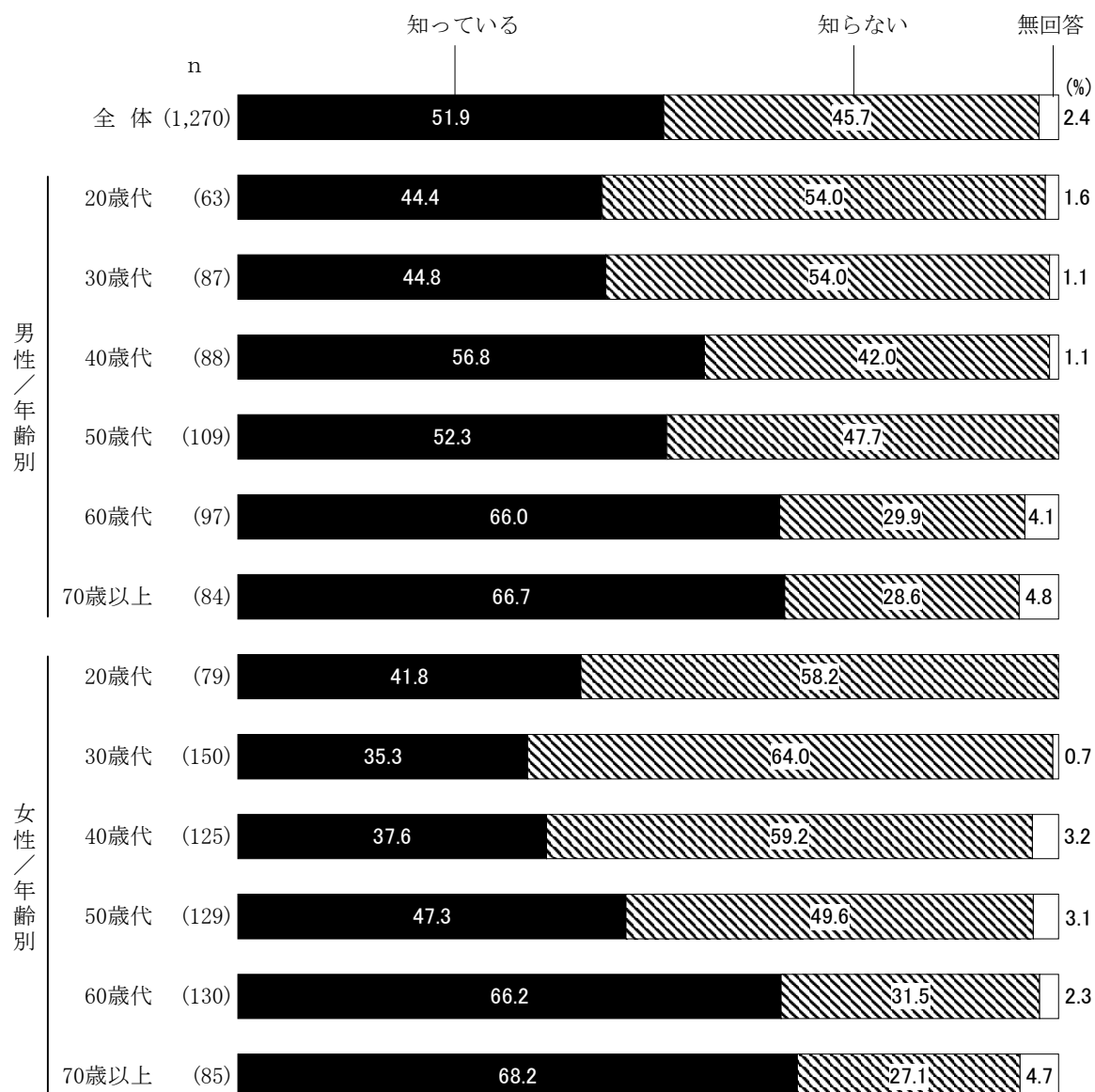
問 16 川崎市で路上喫煙防止条例が施行されていることを知っていますか。（○は1つ）

図表 6－19 路上喫煙防止条例の施行の認知状況



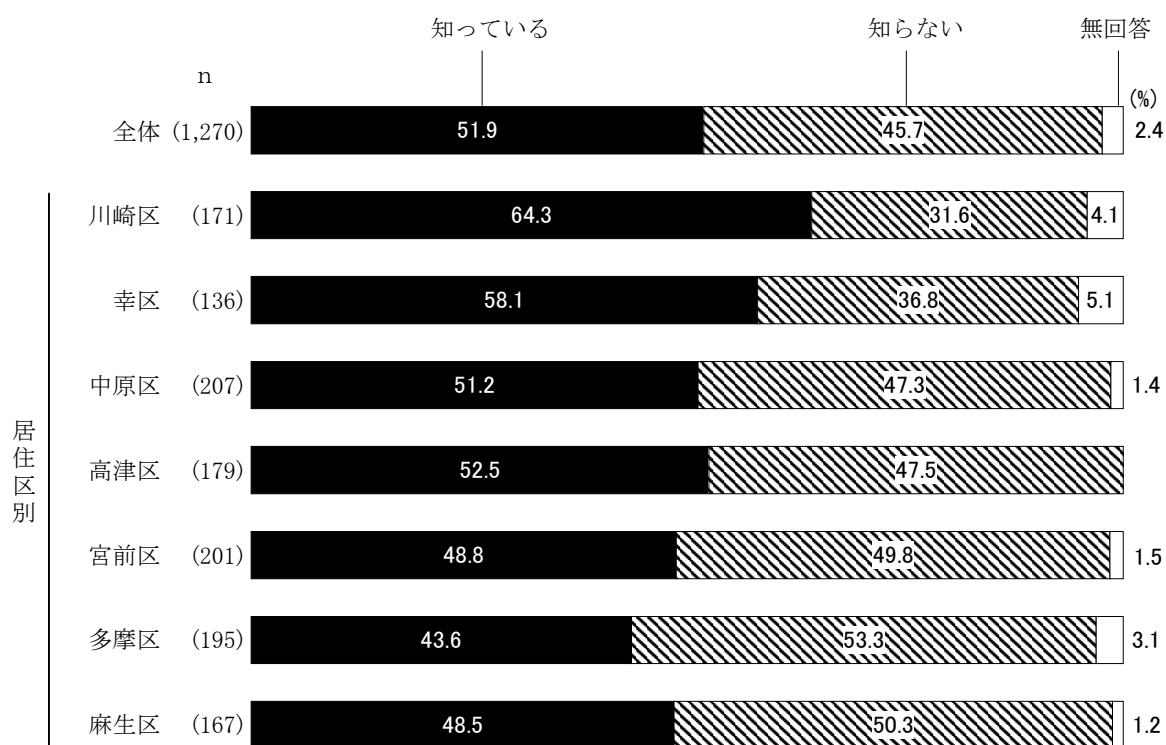
路上喫煙防止条例の施行は、「知っている」が 51.9%、「知らない」が 45.7%で、知っている人が半数を超えている。（図表 6－19）

図表 6-20 路上喫煙防止条例の施行の認知状況（性／年齢別）



性／年齢別では、「知っている」は男女ともに 60 歳以上で 6 割台半ばを超えている。一方、「知らない」は男性では 20 歳代と 30 歳代、女性では 20 歳代から 40 歳代で半数を超えており、特に女性の 30 歳代で 6 割台半ばとなっている。(図表 6-20)

図表6-21 路上喫煙防止条例の施行の認知状況（居住区別）



居住区別では、「知っている」は川崎区と幸区で多く、特に川崎区で6割台半ばとなっている。一方、「知らない」は多摩区で5割台半ば、宮前区と麻生区で半数前後となっている。（図表6-21）